

事業所名

多機能事業所 育はぐプラス

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2025年

3月

17日

法人（事業所）理念		「共生・共育」 事業所名は、「育む」（はぐくむ）と「HUG」（抱きかかえる）を合わせて「育はぐ」とし、大切な子どもたちを卵のように抱いて慈しみ育てると言う思いから成る。						
支援方針		運動・遊び・創作活動等を通して感覚統合につなげ、身体能力やコミュニケーション能力の向上を図り、社会適応能力を身に付けることを目指す。また、母体である松山鍼灸接骨院が長年に亘って培ってきた東洋医学に基づき、一人ひとりに合ったプログラムを実施する。						
営業時間		平日	10時	0分	19時	0分	送迎実施の有無	あり なし
		休校日	8時	0分	17時	0分		
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	基本的な生活スキルの獲得や健康状態の把握、改善を行う中で自立に向けた心身の育成へとつなげる ○来所時には検温を行い、いつもと変わった様子が無いか体調面・情緒面の細やかな見守りを行う ○睡眠状況や排便状況、食べられるもの等健康面における観察、困りごとの把握と対応 ○身だしなみを清潔に保つことが出来るような声掛け・促し ○各児童に合わせた活動の提案・促し、日常生活における自立に向けた援助						
	運動・感覚	遊びを通して楽しみながら、発達段階の「ぬけ」を補っていけるよう活動を提供する ○五感で感じる遊びやリズム遊び、感覚遊びなどの活動の提供 ○接骨院の整体師による定期的な施術 ○発達段階の「ぬけ」を満たしていくための各児童に合わせた運動活動の提供（自分自身のボディイメージが持てる活動、ビジョントレーニング、身体の軸を育てる運動など） ○工作活動やブロック遊びなど指先を使った遊びの提供						
	認知・行動	認知に対する偏り・こだわりへの理解・配慮をしながら、捉え方や感じ方の幅を広げられるよう支援する ○天気や気温、日付の把握と確認を通じた、感覚・数の認知形成 ○おやつを1日100円分までで子どもたち自身が選び、楽しみながら金銭感覚を育む ○集団活動における適切な行動形成 ○感覚、認知の偏りや解釈のズレについての自己理解、他者理解 ○季節に合わせたイベントを実施し、四季を感じる機会を設ける ○1日のスケジュールについて文字やイラストを用いて声掛けし、時間の流れを伝える						
	言語 コミュニケーション	各児童の発達段階、成長段階に合わせてよりスムーズなコミュニケーション方法が獲得できるよう支援する ○「ただいま」「さようなら」「ありがとう」「ごめんなさい」など、基本的なあいさつや気持ちを伝える言葉のやり取り ○各児童の発達段階や特性に応じた感情表出の方法や手段の獲得、その過程の見守りや促し ○非言語でのコミュニケーションも含め、自己表現したことが他者に伝わる喜びを体験できる ○他者との会話の中でまたは本や紙芝居などの媒体を通し、様々な言葉・表現の仕方に触れる						
	人間関係 社会性	誰かと関わることの楽しさ・面白さを知り、社会生活における適応力を養う ○活動やイベントを通して興味のある活動の幅が広がり、好きなことや楽しみなことが増える ○認められたり受け入れられたりすることで自己肯定感を育てる ○他者との関わりの中で生じる気持ちについて一緒に整理しながら理解や納得に繋げる ○イベント活動や運動活動などの集団活動を通し、決められたルールについて守る機会の提供 ○地域へのお出かけや社会見学などのきっかけを通し、自立した社会生活へ向けての意識づけを行う						
家族支援		年に2回のモニタリングを通し、ご家族の生活状況や困っていること等聞き取りを行う 日ごろより困りごとや悩み等、状況に応じて関係機関と連携しサポートする			移行支援		ライフステージに合わせたステップアップや地域とのつながりを一緒に考える 学校や相談事業所等関係機関、同業事業者と連携を取りながら、児童に合った支援を提供する	
地域支援・地域連携		他の通所支援事業所との交流、情報交換会への参加 市や学校、児童相談所など関係機関とのやり取り 地域のコミュニティに参加出来る活動やイベントの実施			職員の質の向上		職員に向けた各研修、勉強会の定期的な実施 外部研修や外部見学への参加	
主な行事等		季節に合わせた活動やイベント、休日に設けるイベント（外出や社会見学など含む）、防災訓練、地域連携（地域のお店や施設に行く）						